

本市におけるこれまでの取組，課題，今後の展望等

これまでの取組	課題，今後の展望等
(1) 徹底した使い捨てプラスチックの発生抑制 ア マイボトル推奨等サポート事業の拡大実施 イ 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」の拡大実施 ウ イベントのエコ化の推進 エ 使い捨てプラスチックの排出実態の把握	○ 市民の皆様マイバッグやマイボトルの携帯など、使い捨てプラスチックの利用を控え、ライフスタイルの転換を図っていただけるよう、一層の基盤整備が必要 ○ 全国有数の観光都市である本市では、外国人観光客をはじめとする入浴者にも分かりやすく情報発信する仕組みを構築していくことが必要 ↓ プラスチックアクション ① 小売店におけるレジ袋の無料配布禁止（有料化）の徹底 ② 市内の給水スポットの情報発信 ⑫ プラスチックを使わない優れた「京もの」の情報発信・利用促進
(2) 徹底した分別・回収・適正処理 ア 資源物回収の実施 イ コミュニティ回収等の集団回収の実施 ウ 拡大生産者責任を重視した、製造・販売事業者等による取組の強化に関する国への要望	○ 使い捨てプラスチックの発生抑制を徹底しても、なお発生するものは、確実にリサイクルしなければならない ○ バイオマスプラスチックなどへの素材転換も重要 ○ プラスチック製容器包装の分別について、啓発・指導を強化するとともに、製品プラスチックのリサイクルに向けた検討や国への働きかけなど、プラスチックごみの適正な処理を一層推進していくことが必要 ↓ プラスチックアクション ④ 製品プラスチックのリサイクルに向けた検討と国への働きかけ ⑤ プラスチック製容器包装の分別啓発・指導の強化
(3) 海洋への流出防止 ア 不法投棄多発地のパトロールの強化 イ 「世界一美しいまち・京都」の推進 ウ 市民・事業者等による自主的な美化活動の推進	○ 散乱ごみ、不法投棄ごみ対策の強化をはじめ、本市だけでなく、様々な団体の皆様と連携を図りながら、収集、パトロール、清掃など強力に推進することで、プラスチックごみの河川や海洋への流出を徹底して防止していくことが必要 ↓ プラスチックアクション ⑥ 散乱ごみ、不法投棄ごみ対策の強化

これまでの取組	課題、今後の展望等
(4) 市民意識の向上や具体的行動の実践促進 ア 環境学習施設等での展示・情報発信 イ 様々な広報媒体による周知・啓発 ウ 地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」における学習 エ 「大学生・ごみ減量サポーター事業」での大学生による取組の発信 オ 「ごみ減量エコバスツアー」の開催 カ ふろしき文化、急須文化の情報発信 キ 事業者と連携した店頭啓発キャンペーンの実施 ク 京都市ごみ減量推進会議との連携 ケ 家庭ごみ有料指定袋にバイオマスポリエチレンを配合	○ 使い捨てプラスチックの問題を市民の皆様、とりわけ若い世代に認識していただくため、地域学習会の開催や施設の見学・学習のほか、あらゆる機会を通じて、プラスチックの問題を目につく形で周知・啓発を徹底し、具体的な実践行動につながるよう取り組むことが必要  プラスアクション ③ 多数の方への見えやすい啓発及びイベント等での給水機の設置 ⑦ 使い捨てプラスチック削減のための募金キャンペーンの実施
(5) 事業者による取組の促進 ア 様々な広報媒体による周知・啓発 イ 事業者に対する過剰なプラスチック製包装の見直しや減容化の要請 ウ 優良事例の顕彰 エ 事業者が排出するプラスチックごみの適正処理 オ 住宅宿泊事業者が排出する使い捨てプラスチックごみの分別徹底 カ 市民等からの提案によるごみ減量モデル事業への支援	○ 事業者の皆様にも、使い捨てプラスチックの問題を一層認識していただくことが不可欠であり、事業者の取組はもとより、市民との協働による2R及び分別・リサイクルの推進を行っていかねばならない ○ 事業者への啓発、事業者による使い捨てプラスチック削減につながる製品開発や販売方法などの取組への支援を図っていくことが必要  プラスアクション ⑧ 情報発信、製品開発に係る事業者への支援 ⑨ 排出事業者に対するプラスチックごみの発生抑制・分別指導の支援
(6) 市役所職員の率先垂範 ア 庁内ニューズレター「さすてな通信」による周知・啓発 イ 使い捨てプラスチックに頼らないライフスタイルの確立 ウ グリーン購入の推進	○ 使い捨てプラスチック削減に向けた取組を加速するうえで、市内最大規模の事業者である市役所による率先垂範が不可欠 ○ 職員の行動の変革はもとより、物品調達仕組み等も見直すことが必要  プラスアクション ⑩ 啓発物品の調達に係る使い捨てプラスチックの削減に関する方針の策定 ⑪ イベント、会議における使い捨てプラスチック製品の使用禁止